フードバンクこども支援プロジェクト
保護者アンケート調査
報告書

2022年4月

認定 NPO 法人フードバンク山梨

舞い上がれ
社会を変える
みんなの力
休眠預金を活用した事業です

この調査は「中核的フードバンクによる地域包括支援体制事業」の助成を受けています

Ⅰ. 背景と経緯

認定 NPO 法人フードバンク山梨
理事長 米山 けい子

当法人の食料支援実績は、**コロナ禍前の 2018 年と比べると 10,431 件と 2.6 倍に急増**している。
物価の上昇は食料品をはじめガソリン代・電気料金等生活全般におよび、これまで生活困窮していた母子世帯や学生等の生活を更に悪化させている。

その様な状況下での子ども達は、学校給食のない長期の休みに、十分な食事や栄養が取れない事例が多く、特にコロナ禍での重点的な支援が必要である。
2021 年度の「フードバンクこども支援プロジェクト（以降 KSP）」での食料支援数は、**816 世帯とコロナ禍前の 1.2 倍に増加**した。支援回数も例年の夏・冬合わせて 3 回の実施から 5 回に増やし対応してきた。
当法人で最も多くの支援割合を占める KSP（小中学生のいる就学援助世帯）への調査は一昨年4月以降行っていないため、それらの世帯のコロナ禍での状況変化及び新たなニーズ等を把握するため、本調査を実施した。

特に本調査では、初めてとなる**子どもへの調査**を実施し、保護者と子どもの両面から困窮世帯に対して的確な支援策を検討する為に、必要なニーズと課題を把握することを目的としている。
子どもへの調査には、山梨大学の高橋先生、秋山先生のご協力と当法人と連携して実施している学習支援教室「ももっ子クラブ」のアラベスク（学生団体）の協力を得たことで、幅広い視点からの調査になったことに感謝したい。

考察

1. 平日の日中以外にも働いているが、貧困が改善されない。

保護者アンケートでは、77%が母子世帯で非正規雇用が 61%と高く、平日の**日中以外の勤務は約 5 人に 1 人が土曜と日曜祝日ともに働いている**ことが分かった。**1 か月の世帯収入は 15 万円以下が 35%**だった。このことから母子世帯の多くが非正規である上に、土曜、日曜祝日も働き、家事や育児をこなしている経済的にも身体的にも厳しい生活実態が浮き彫りになった。非正規雇用等の賃金アップや子どもの行事や病気等での休みが取りやすい制度等の処遇改善が必要である。

2. 物価の上昇が生活困窮世帯を直撃している

コロナ禍の影響で節約の為に 80%が食費を削っており、食事の回数や量も半数が減らしている。1 か月の食費から一人当たりの 1 日の食事代を算出したところ、**約 3 人に 1 人が 300 円未満で、3 食食べるとすると、1 食あたりが 100 円**ほどになる厳しい状況だった。

更に食品やガソリンなど生活に直結した物価の上昇が、困窮世帯への大きな負担となっている。

コロナ禍やウクライナ問題による物価の上昇は、一般的な世帯より所得が低い世帯ほどその影響は深刻になる。こうした負担が長引く事で、**将来にわたって格差が拡大する事を危惧する。**

3．子ども達は多くのものを剥奪されている

子どもたちは懸命に働く親を支えようと、兄弟姉妹の面倒をみたり家事を分担したり、**ヤングケアラーに近い状況**も散見された。
物質的な不足は、洋服・文房具・部活で使用する用具などがあり、加えて経済的な理由で塾や習い事にも通わせてあげられない等、経験の不足も多くあった。
子どもの**最終進路への希望は 74%が大学・専門学校などの高等教育機関であったが、現実的には 40%と低下**し、3 人ではあるが、中卒後就職もあった。
本調査の子ども達の多くが、家庭環境により将来が左右されてしまう事を示唆する内容となった。

子どもの調査については、高橋先生の考察のとおり、①物質的・経済的 ②関係的・社会的 ③実存的・自己形成的の3つの剥奪が挙げられ、食料支援を受ける子ども達の厳しい状況が明らかになった。

今後の展望

1．公的支援については、働いているにもかかわらず、生活改善されない実態は、埋めようのない格差であり、コロナ禍やウクライナ問題での物価上昇で大きく打撃を受けている世帯への**迅速で継続的な支援**をお願いしたい。
また、本調査で総合支援資金などの支援自体を知らない方もおり、**申請型でなくプッシュ型**で必要な世帯に重点的な支援が必要である。

2．当法人では、4 月 23 日に児童扶養手当を受給する世帯にミルク・おむつ・食品を配布する「乳幼児応援プロジェクト」や長期休暇中の子ども達の食料支援を実施し、対象者が申請しやすい仕組みづくりも検討する。

3．今年度は新たに福祉医療機構（WAM）助成事業により**「食の支援を契機とした 1 人親家庭の総合的支援＆課題解決力育成事業」を開始**した。
これは食料支援する世帯の親と子どもに、公認心理士などの専門家が KSP の対象者 800 世帯のうち、約 50 世帯に集中的に総合的な相談支援を実施するものである。対象者は本調査で生活状況が厳しい家庭も対象とする。
更に**将来ビジョンを子ども自ら作り上げるチャレンジプランやキャリア形成支援**も実施する。

4. これまで食料支援する子どもたちへの無料の学習支援教室(中央市・南アルプス市)を２会場で実施してきた。

本調査で高橋先生、清水さんの考察を受けて、学習に加えて、子ども達の自由に過ごせる居場所であり、**子ども １ 人ひとりに寄り添って伴走する学習支援教室を目指していきたい。**また年齢の近い大学生が、子どもの貧困問題に対する理解を深め、この活動が広がっていくことを期待している。

南アルプス市での学生団体アラベスクの活躍は、その模範的なものである。

調査結果の要点

1－④ 現在の家族構成 ひとり親世帯 78%

1－⑤ 雇用形態 非正規雇用 61%

・「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 50%、「非正規職員・非正規社員」が 11%。「正規職員・正社員」は 23%にすぎない。

1－⑤―1 平日の日中以外の勤務 67.9%

・「土曜出勤」が 61 人、「日曜・祝日出勤」が 43 人となり、約 5 人に 1 人が土曜と日曜祝日ともに勤務。「早朝（5 時～8 時）勤務」18 人、「夜勤（20 時～22 時）」11 人、「深夜勤務（22 時～5 時）」も 9 人であった。

1－⑥ 1 か月間の世帯収入金額（手取り額） 35%が月収手取り額 15 万円以下で生活

・10 万円以下が 11%、11～15 万円が 24%、16～20 万円が 31%。

1－⑦ 借金をしていますか 借金がある世帯は 41%

2－⑧ 食品の値上がりについて

・お米（83 人）、野菜（79 人）、食パン（75 人）、食用油（72 人）**の値上がりが、特に生活に影響**

2－⑧ 食品以外の値上がりについて 回答者の過半数がガソリン・光熱水費の値上がりに影響

・ガソリン（144 人）、電気代（117 人）、ガス料金（97 人）、灯油（93 人）、水道料金（87 人）、トイレットペーパー（67 人）。

2－⑨ 1 か月間の世帯全体の食費 47.8%が 1 か月間 4 万円未満に食費を抑えている

・「1 万円未満」が 1.2%、「1 万円～2 万円未満」が 6.7%、「2 万円～3 万円未満」が 12.3%となり、3 万円未満が 2 割を占める。

参考：1 人当たりの 1 日の食事代 32%が 300 円未満で生活

・「200 円～300 円未満」が 22.5%と最も多く、「100 円～200 円未満」（7.5%）、「100 円未満」（2.5%）。

2－⑨―1 節約の為に食費を削っているか

・はい 80%、いいえ20%

2－⑨―2 食事の回数量について 過半数が食事の回数ないし量を減らしている。おかずを減らした世帯は 53.1%

・「1 日の食事回数を減らしている」（10%）、「1 回の食事量を減らしている」（31%）、「1 日の食事回数と 1 回の食事量を減らしている」（6%）

2－⑨―3 食事の内容

・「おかずが減った」（54%）、「炭水化物だけの食事が増えた」（25%）、「インスタント食品が増えた」（16%）。

3－⑬ 子どもの最終進路について（希望）：74%が高等教育機関への進学を望むが現実的な考えは 40%に低下

・「大学・大学院以上」（38%）、「短・高専・専門学校まで」（36%）、「高校まで」（26%）、「中卒後就職」はゼロだった。

・子どもの現実的進路：「大学・大学院以上」（18%）は理想の半数以下に減少し、「高校まで」が 58%を占めた。「短・高専・専門学校まで」（21.9%）、「中卒後就職」（2%）。

4－⑭ 悩みやストレスがありますか 保護者の 83%が悩みやストレスを抱えている

・ある 83%、ない 17%

4－⑯ 困ったときに相談や頼れる親族や友人がいますか

・「いない」が 36 人と約20%。「いる」場合、親（73 人）が最も多く、次いで友人（56 人）、兄弟（37 人）の順。

3－⑩ 記述から抜粋

・小学 5 年生の男の子:おかずが少なくても、ふりかけなどで食べてくれる。ズボンの膝が破けていても繕ってあげると「平気」と言ってはいてくれる。

Ⅱ. 調査概要

1. 調査の目的

本調査は対象者のコロナ禍の生活状況や食生活、子どもの進路、**更に法人としては初めてとなる子どもへの調査**を実施し、親と子どもの両面から困窮世帯に対して的確な支援策を検討する為に、必要なニーズと課題を把握することを目的としている。

2. 調査について

① 調査対象

・当法人が 12 月20日～23日に行った「フードバンクこども支援プロジェクト」で支援を受けた子育て世帯（就学援助（準要保護）受給世帯）の保護者

② 調査方法と回収状況

当法人の支援世帯に、食品と共に QR コード付きの「アンケート調査ご協力のお願い」を配布。
その QR コードをスマートフォンで読み取ってもらい、Google フォームにより回答、又は回答票を郵送。

③ 調査期間

2021 年 12 月 20 日～2022 年 1 月 7 日

④ 回収状況

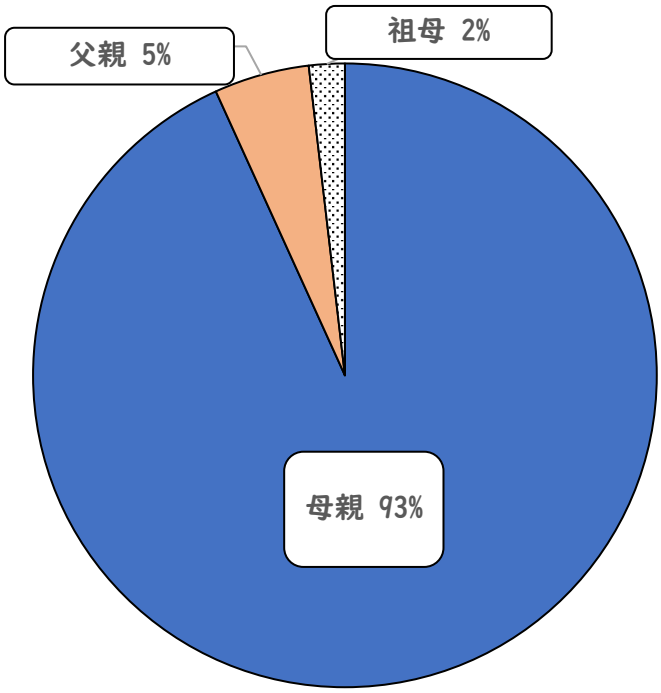
	調査世帯数	回収数	回収率
保護者アンケート＊1	816	162	19.8%
子どもアンケート＊2	1607	280	17.4%

＊1 本調査報告書
＊2 別紙調査報告書

Ⅲ. 調査結果

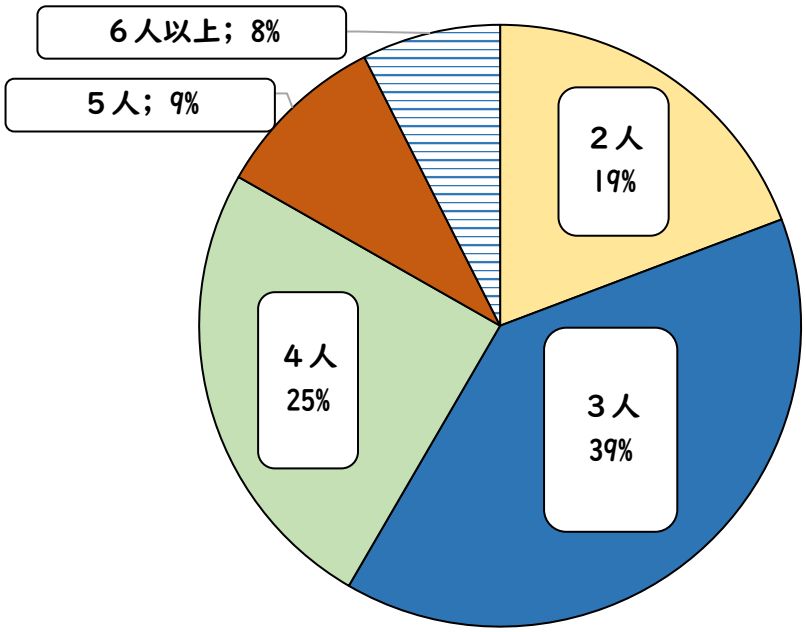
1. 回答者自身について

① 回答者は、子どもからみて誰にあたるか（N=162）



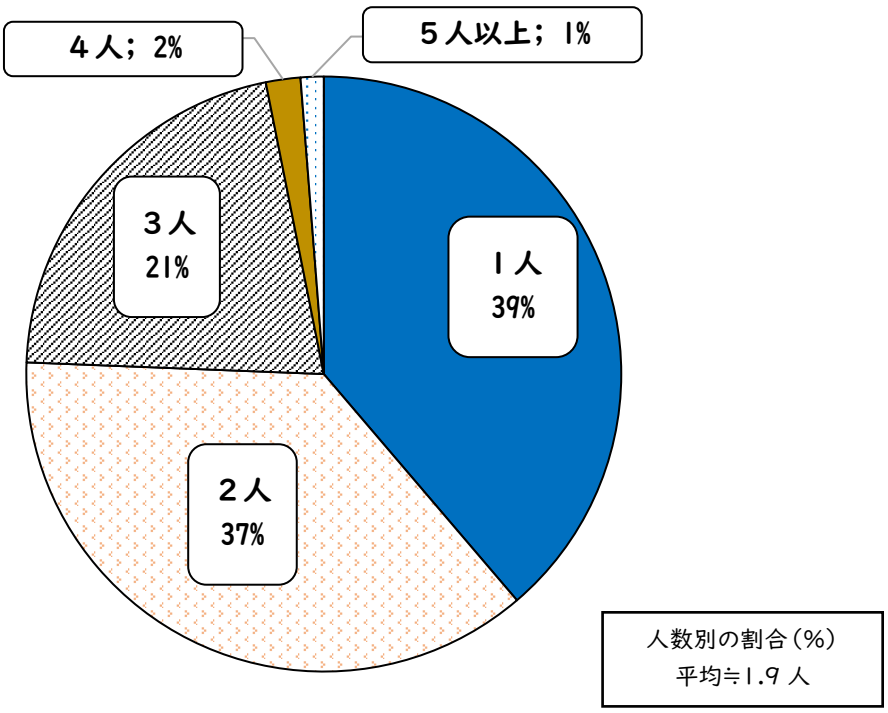
・母親の回答が 9 割を超えている。

② 子どもと同居している家族の人数（N=161）



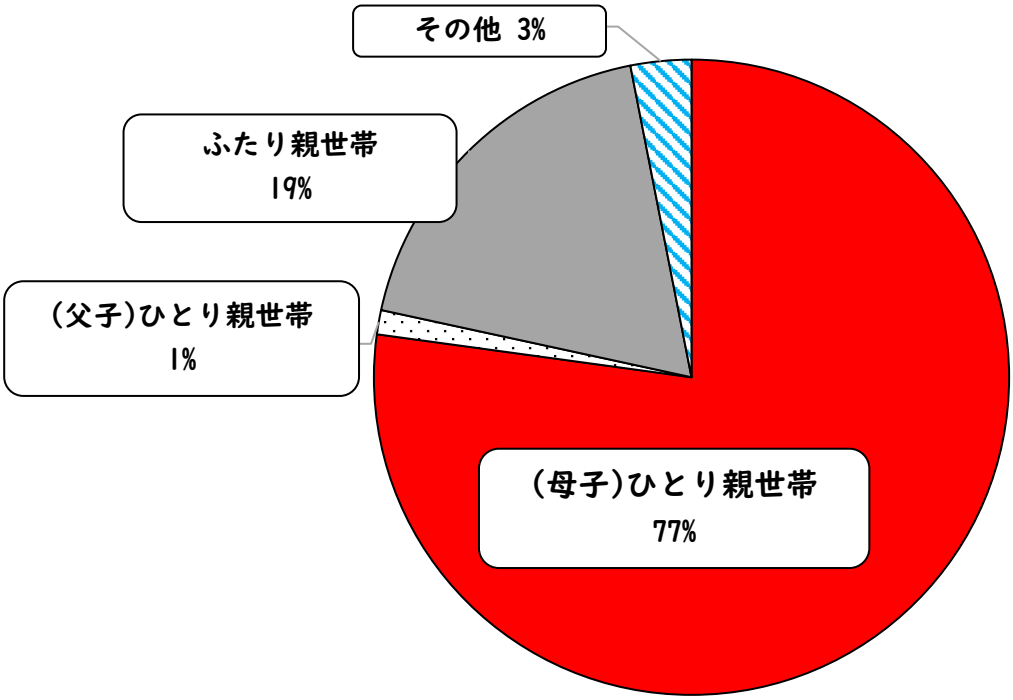
・子どもを含めた人数は、3 人が最多で、平均≒3.5人であった。

③ 子ども（18 歳未満）の人数



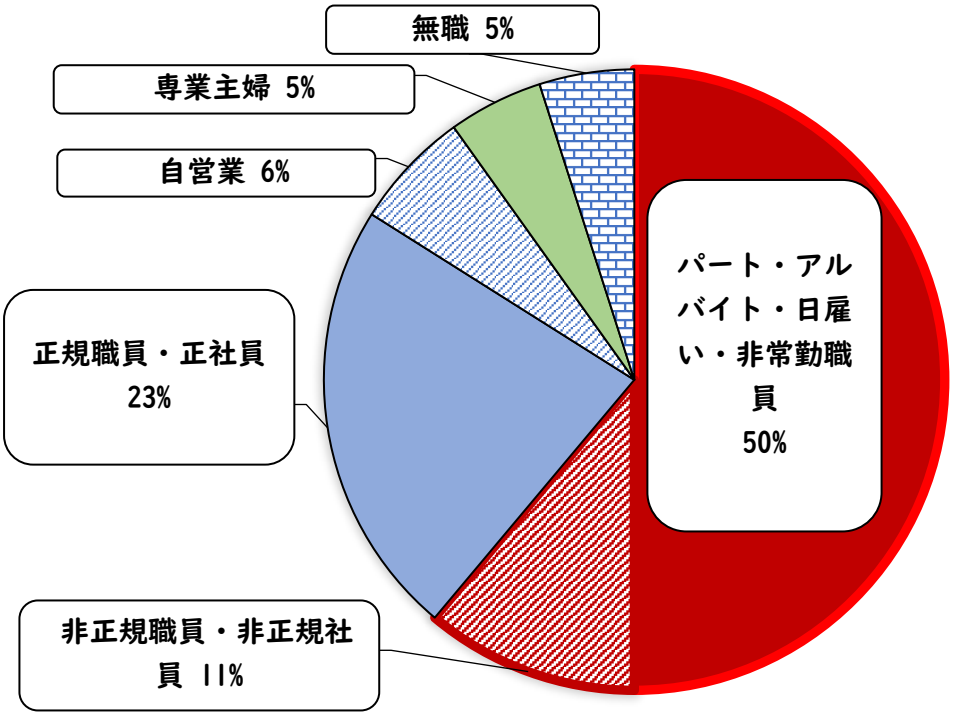
・子ども（18 歳未満）の人数は、1 人が 39%と最も多い。

④ 現在の家族構成（N=162）



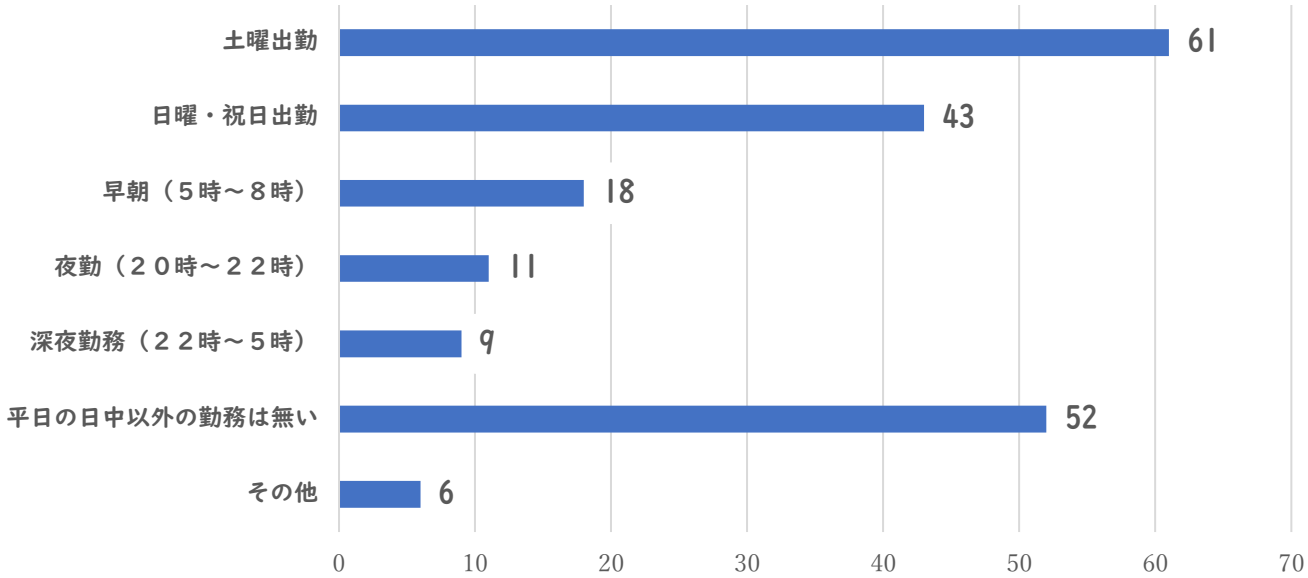
・母子世帯が 77%と最も多い。

⑤ 回答者の雇用形態（N=162）



・「パート･アルバイト･日雇い･非常勤職員」が 50%、「非正規職員･非正規社員」が 11%であり、合わせて**非正規雇用が 61%**を占める。

⑤−1 平日の日中以外の勤務の有無（重複回答、回答数 200）

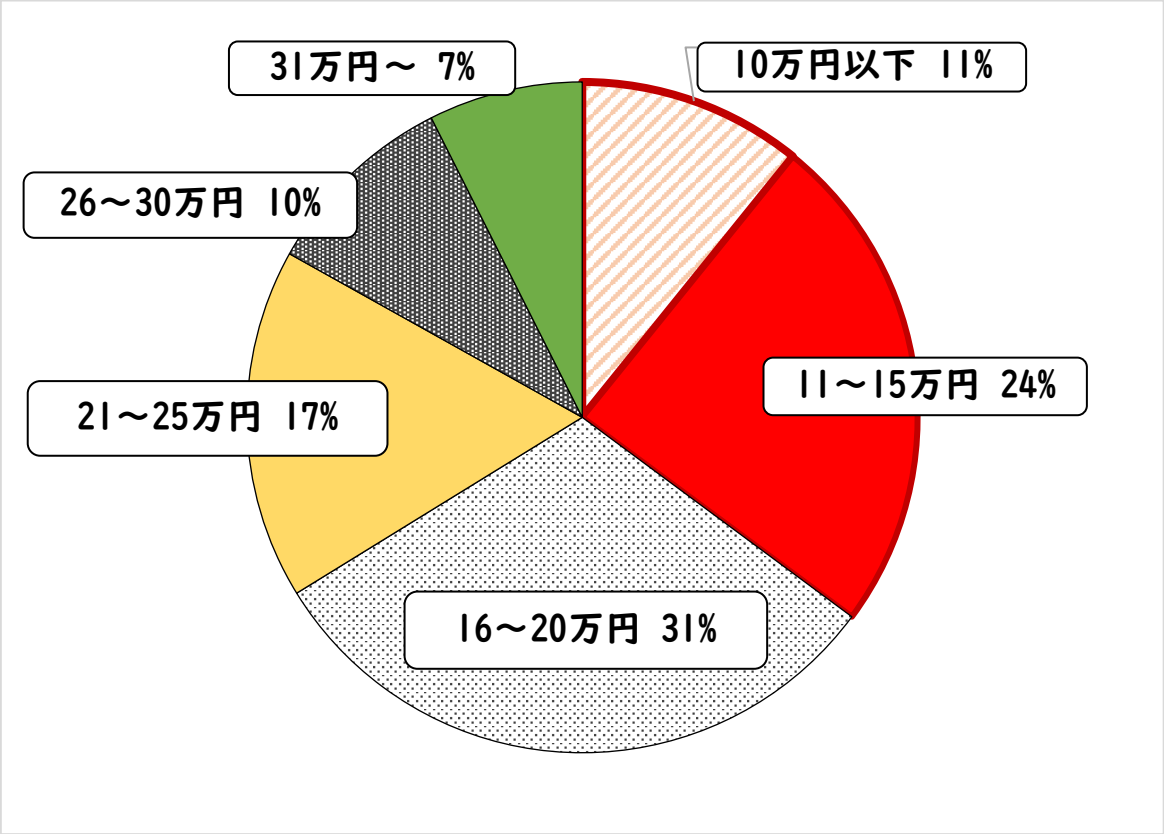


・「土曜出勤」が 61 人、「日曜･祝日出勤」が 43 人となり、約 5 人に 1 人が土曜と日曜祝日ともに働いている。「早朝（5 時～8 時）勤務」が 18 人、「夜勤（20 時～22 時）」が 11 人、「深夜勤務（22 時～5 時）」が 9 人となり、67.9%が平日日中以外の勤務がある。

・平日日中･以外の勤務ありの割合　=67.9%

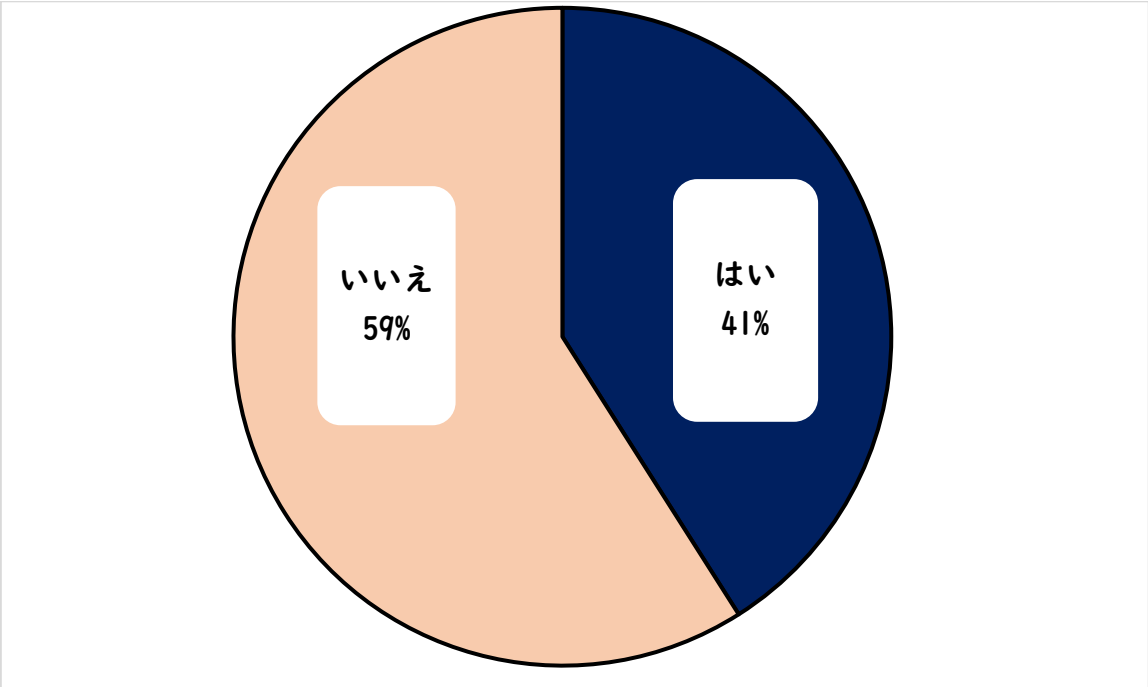
・土曜･日曜祝日ともに勤務ありの割合=21.6%

⑥ １か月間の世帯収入金額（手取り額）（N=148）



・全体の 35%が 15 万円以下で生活している。

⑦ 借金の有無（N=161）

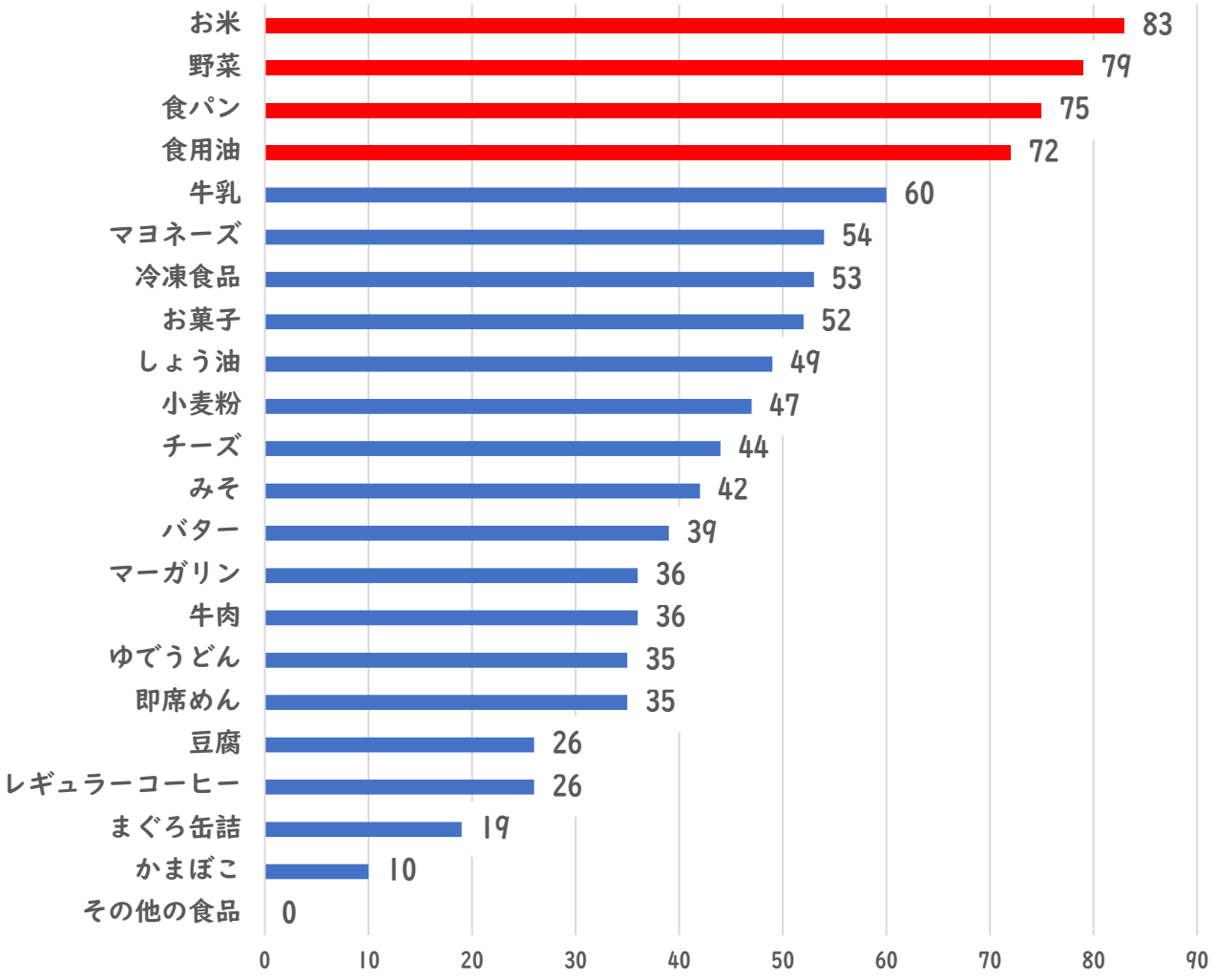


・41%が借金をしている。

2. 最近の食品、電気・ガス、ガソリンなどの値上げについて

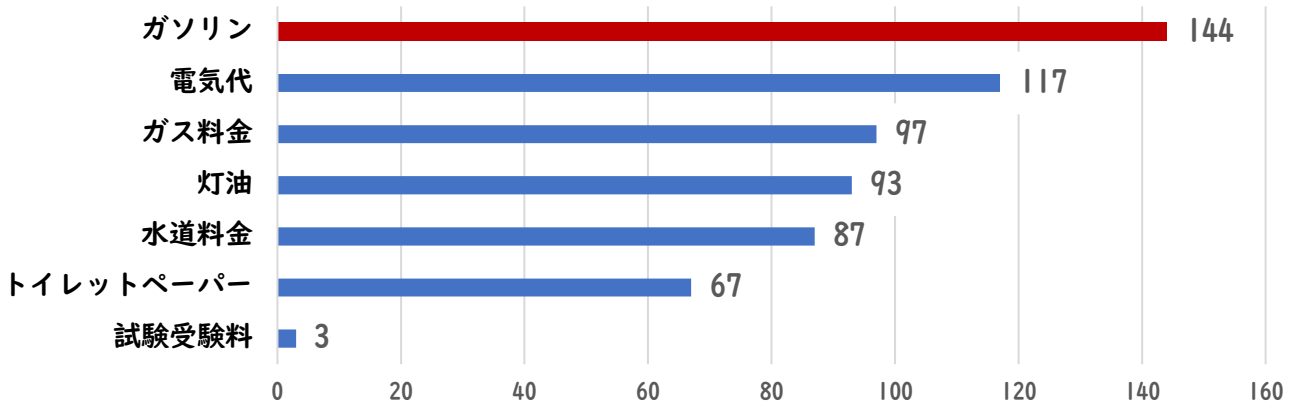
⑧ 食品や石油、試験料などが値上がりしている物の中で、生活に影響している物。（該当全てに○）

食品（複数回答、回答数972）



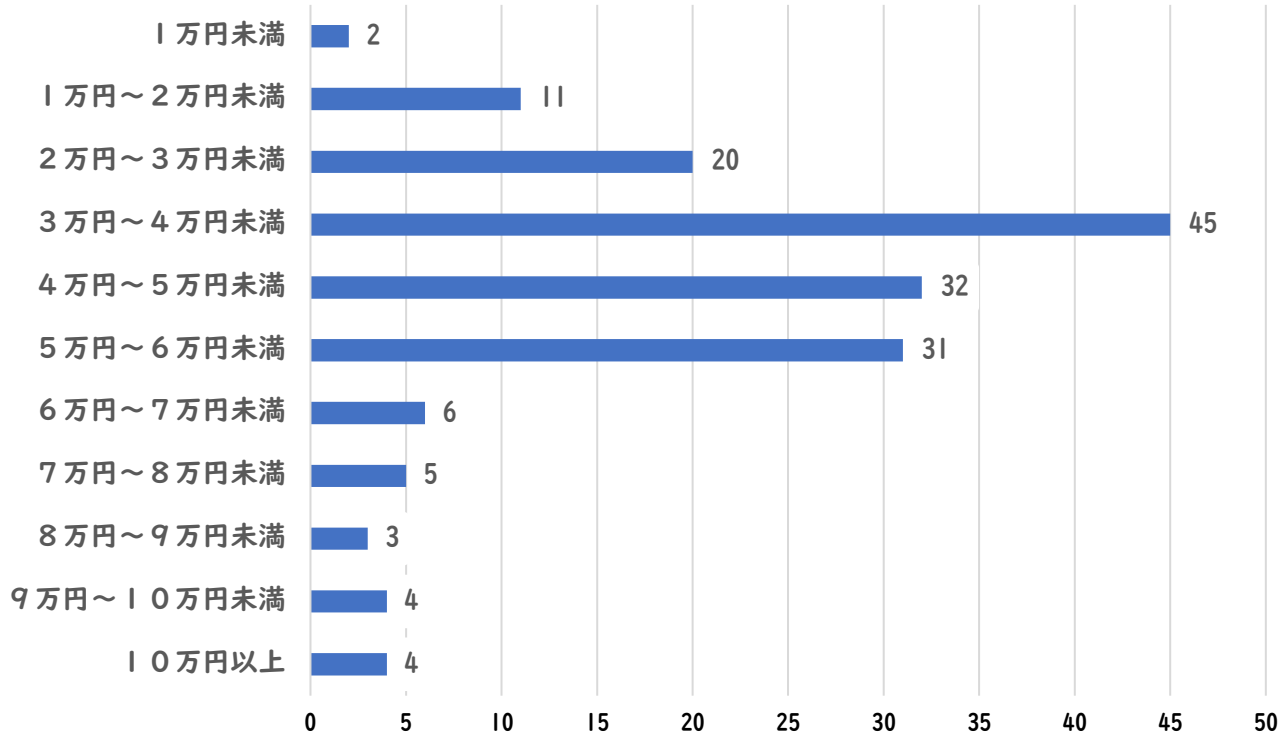
・お米（83 人）、野菜（79 人）、食パン（75 人）、食用油（72 人）が上位を占めた。

食品以外（複数回答、回答数 608）



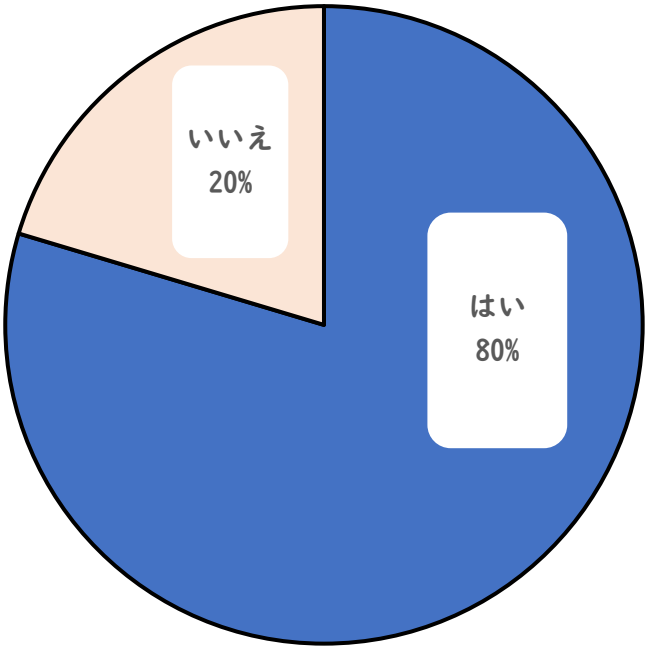
・過半数がガソリン代をはじめ、光熱水費の値上がりの影響を受けている。

⑨ １カ月の世帯全体の食費（N=163）



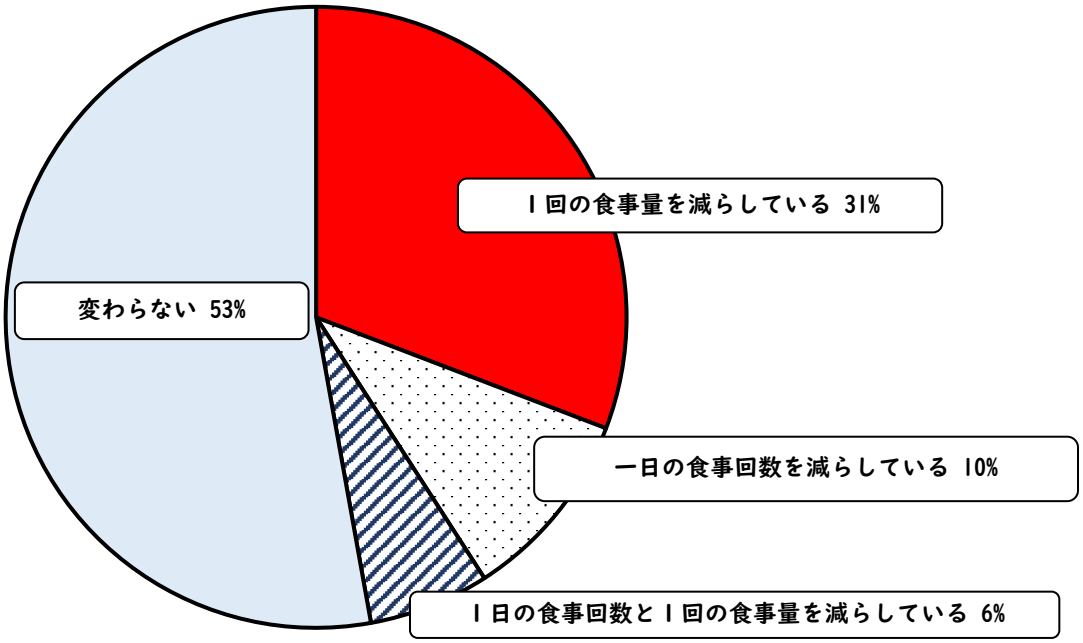
・4万円未満が 47.8%を占める。3 万円未満も 20%を占めている。

⑨-1 コロナ禍の影響で、節約のために食費を削っているか（N=162）



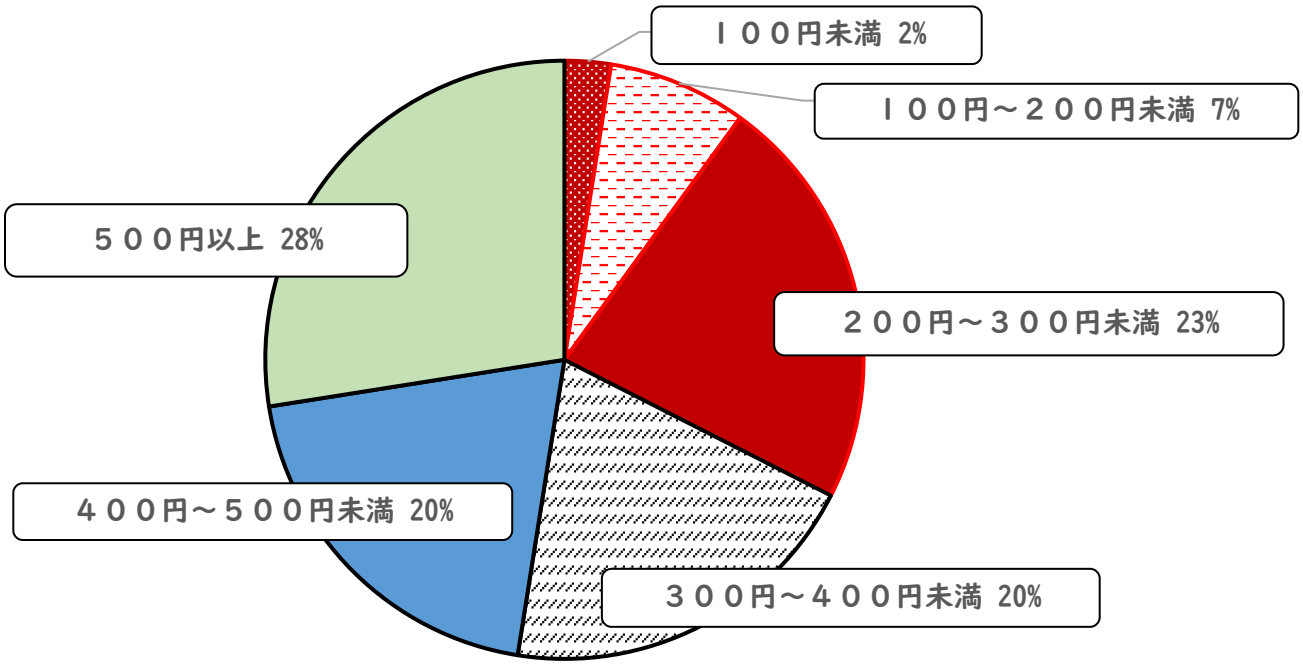
・80%が食費を削減している。

⑨-2 節約のために食事の回数・量について変化があったか（N=159）



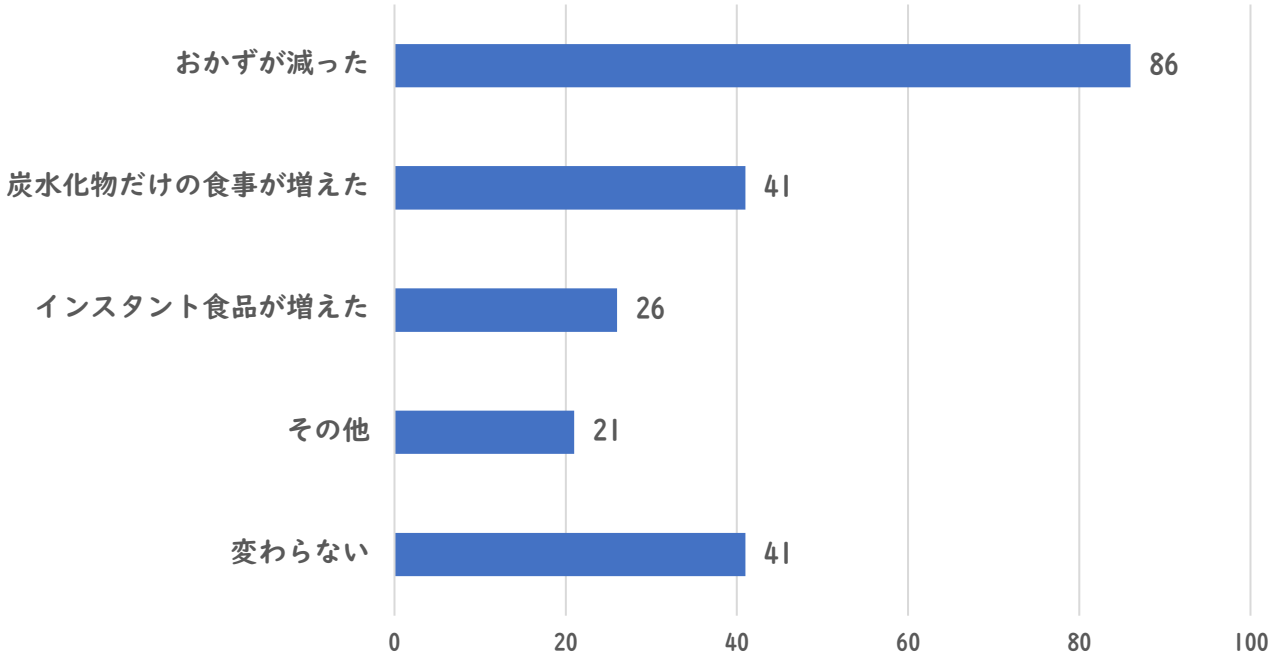
約半数が食事の回数ないし量を減らしている。

参考 １人当たりの１日の食事代(N=160)



・33%が 300 円未満であった。

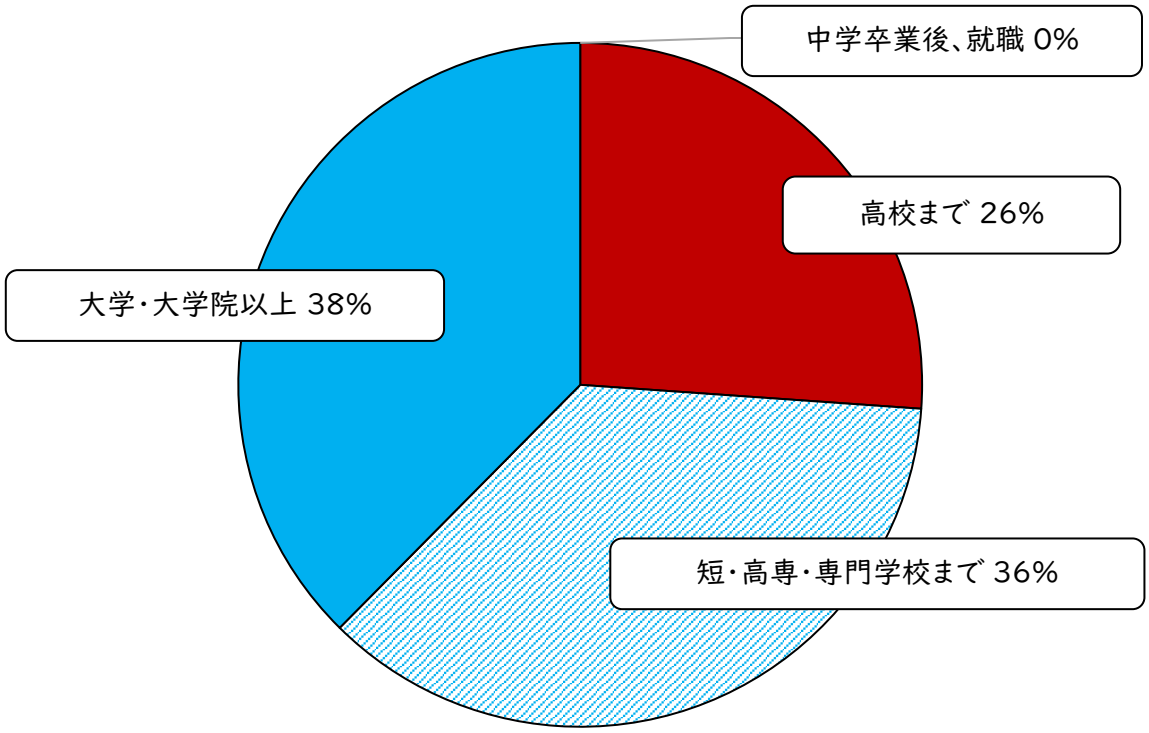
⑨-3 節約のために食事内容が変化したか（複数回答、回答数 159）



・「おかずが減った」が 54%と過半数以上を占めた。「炭水化物だけの食事が増えた」（25%）、「インスタント食品が増えた」（16%）と偏りがあった。

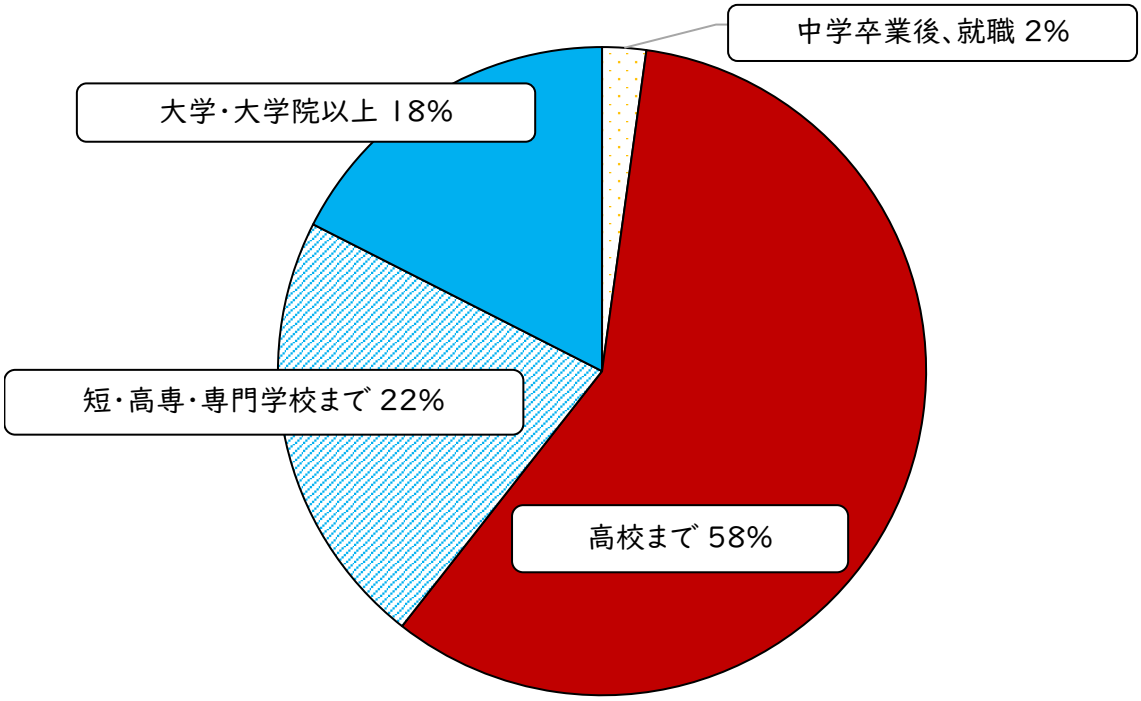
・**「自分だけおかずなし、子どもたちはいつも通り」、「もやしを使ったおかずが増えた」、「ふりかけやお茶漬けが増えた」、「外食に行かなくなった」**等の声があった。

⑬ 子どもの最終進路について、回答者の希望（理想）（N=157）



・74%の保護者が高卒以上を望んでいる一方、「中卒後就職」はゼロだった。

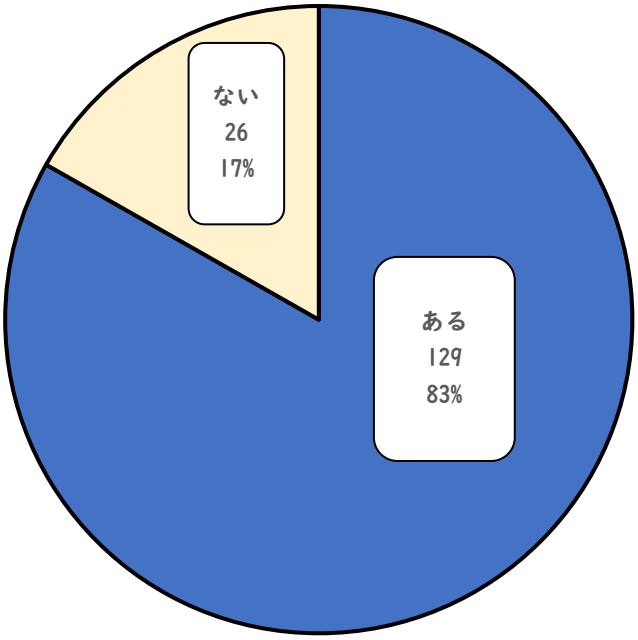
⑬-1 子どもの現実的な進路（保護者の現実的な考え）（N=137）



・「大学・大学院以上」は 18%と理想の半数以下に減少し、「高校まで」が 58%と過半数を超えた。
・保護者の希望では、短大や大学等への進学希望が74%（約4分の3）あったが、現実的には「高校まで」が 58%と最多であった。

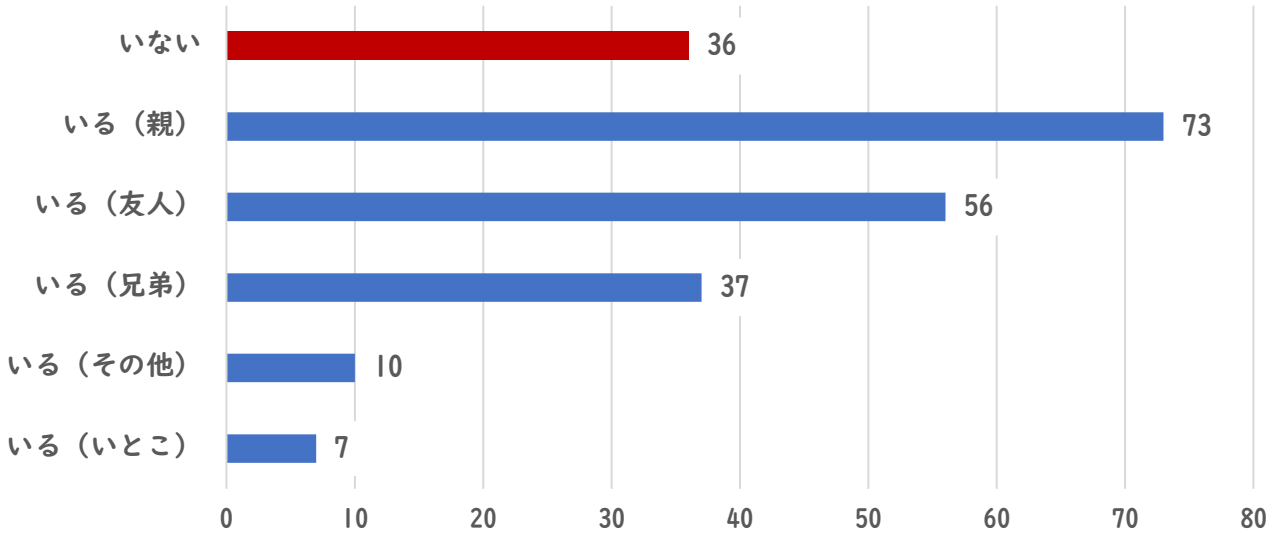
4. 困りごとなどについて

⑭ 悩みやストレスがあるか（N=155）



・約8割強に悩みやストレスがある。

⑯ 困ったとき、周囲に相談や頼れる親族、友人がいるか（複数回答、回答数219）



・16%の36人が「いない」と孤立している。
・「いる」回答では、親（73 人）が最も多く、友人（56 人）、兄弟（37 人）の順であった。
・「その他」には、子どもの通院先の医師、学校の担任、子育て支援課、ファミサポ等があった。

3. 子どもについて

⑩ 子どもの状況や特徴（例：家庭での様子、日常生活習慣、服装、放課後の過ごし方、居場所、学習意欲、行事に参加できないなど）（自由記述、回答数 140） ＊原文のまま、以下抜粋

保護者の仕事の影響

・私の仕事は土日祝も関係なく夜勤もあります。現在祖母も入院中のため、子どもが一人で家にいなくてはいけない時間が増えました。学校から帰ってきた時や土日も家にいてくれています。家事も米炊や洗濯物の取り込みなどをしてくれています。学習においては授業についていけない…と子どもからの相談がありましたが、家庭教師や塾に通わせる余裕もなく、どうしたものかと悩んでいるところです。
・9～17 時の仕事勤務で塾が 19:10～なので休む暇もなく荷物下して夕食作り。仕事もホームセンターのため、重いものや動いているので体がきつい。
・仕事があるため、放課後は学童へ行ってもらっています。帰り(迎え)が遅いため、ほかの子がどんどん帰ってしまい、迎えに行くときには最後の 1 人や2人で寂しい思いをさせてしまっている。家に帰っても家事をしているとなかなか子どもとの時間を使ってあげられない。
・サービス業の仕事なので、土日祝仕事の時は1日子どもはお家にいたり、実家に預けている。服はそんなに買えないので近所でおさがりをもらっている。
・小学生で私が仕事で帰りが遅いので、留守番しています。ゲームが大好きで勉強をしません。私もじっくり見てあげられません。
・収入減で学童を利用するのが困難で上の2人は2人で留守番することが増えた。
・働いているので子どもたちと関わる時間が少ない。
・推薦で私立高校に入学し、入学するに当たり、市子育て支援より学費の借入れと銀行に生活費の借入れをしている。

・仕事で子どもと関わる時間が減ってしまったため、子どもと一緒に遊ぶ時間・学習状況確認する時間・余裕のある時間がなかなか取れずコミュニケーションも減ってしまったように感じます。
・仕事をしているので子どもの話をゆっくり聞く時間がありません。
・（子どもが）かなりの頻度で病院に行くので、仕事を休まなくてはいけない日が多い。
・夜勤もしています。子ども一人を夜留守番させることに心配もありましたが(友達を連れ込む)、子どもからはっきりと「こんな貧乏な家に友達なんか呼べるわけないじゃん。恥ずかしい。」と言われました。子どもたちにとったら恥ずかしい生活になるんですね…。
・私の仕事は土日祝も関係なく夜勤もあります。現在祖母も入院中のため、子どもが一人で家にいなくてはいけない時間が増えました。学校から帰ってきた時や土日も家にいてくれています。家事も米炊や洗濯物の取り込みなどをしてくれています。学習においては授業についていけない…と子どもからの相談がありましたが、家庭教師や塾に通わせる余裕もなく、どうしたものかと悩んでいるところです。
・夕勤(4 時間)だけでも勧てくれる人が必要

家庭での様子

・食べたい物が食べさせてもらえない。・いつも同じ食事ばかりになっている。・着たい服が着れない、買えない。・好きなキャラクターの商品も買えない。・皆が持っているゲームが買えないで泣く事が有る。
・習い事に行かせてあげられない。服が少なく、同じような服になってしまう。食生活。おやつが買えない。
できるだけ外食しない。コンビニへ行かない。外で遊ぶ時も買い物はできるだけ避ける。
・放課後は学童。服装はいとこのおさがり。近所に子どもがおらず、移住のため学校以外で同世代と会う機会がない。共働きのため、送迎・月謝が気になり、習い事に通えていない(通いたがっている)。
・長女なので親の代わりをさせてしまっている。1 番家の中で手伝ってくれてます。（ヤングケアラー）
・長男:下２人の面倒もよく見てくれて、この冬休みも私が仕事の時は本当に頼りになります。もう少しで高校も卒業ですが、何年も弟たちの世話を大変な時は助けてくれて感謝しっきりです。
・子どもに家事を負担してもらっている。自分の部屋がないので勉強・寝る・一人になりたい。居場所でストレスがある。新しい靴下・下着・靴・服などぎりぎりまで頑張って着用。毎日が節約。

学習意欲

・家庭での学習のみになるので集中力がなくなり、成績が心配。興味があることにも習い事ができないのでかわいそうになる。
・行事がなくなり楽しみにしていたからショックを受けていた。学習意欲を失う。外出ができないので気晴らしができず、うつ状態のようになっていた。
・母子家庭で私が平日ほとんどいないので、宿題・その他を見ることができないので、学習面は悪い。

服装

・家では普通ですが、やはり外で遊べず、友達と学校以外で会えないのが寂しいようです。服装もすべて 300 円のお店で綺麗なもの、着れそうなものを選び、着せています。愚痴も言わず、着てくれてありがたいですが、親としては切ないです。
・サイズがすぐ大きくなる為、洋服は穴があくまで着る。高い服は買えないのでセールや安くなっているものを着させている。
・洋服は新しく購入してあげられない。部活で使用する道具やユニフォームなどを購入してあげられない。旅行にも費用が足りず、行くことができません。

コロナ禍の影響

・コロナ渦になり、登校拒否になってしまいました。家で過ごすことが多く、外にもあまり出ません。学習の方も心配しています。
・長男:高校生。バイトがコロナの影響で休日が多く、前の飲食のバイトを辞めバイトを何個か面接へ行っているが、断られている。人員が足りているから。 次男:中学生。来年高校受験だが、仕事をして家庭を支えると言っている。私は高校くらい出してやりたい。
・コロナで外で遊ぶことがなくなった。体力がなくなり、ちょっと動くと疲れたということが多くなった。勉強したいのにわからないことがあると集中力が切れてしまう。
・長女:コロナで外出が怖くなり、家にいることが増え、友達と遊ぶこともなくなった。進学してさらに影響がでてしまい、学校に行くのが辛いよう。
・コロナ渦になり、登校拒否になってしまいました。家で過ごすことが多く、外にもあまり出ません。学習の方も心配しています。
・祖母が倒れたのでコロナで私の仕事が強制退職になり、本当にコロナで生活が一変しました。母の看護とコロナ渦と年齢制限の圧で就活も上手く進まなくて。(中略)国・行政の相談を活用して協力していただいて、生活を整えました。
・コロナの影響なのか、下の子のクラスがものすごく荒れていて、家に帰ってきてからの態度もひどいです。

⑪ 子どもの伸ばしたい点(例:関心があること、家庭での様子、日常生活習慣、服装、放課後の過ごし方、好きな科目など)(自由記述、回答数 104) ＊原文のまま、以下抜粋

・資格を必要とする職業のため、安定した収入を得ることができているので、子どもにも何とか資格をとってほしい。子どもが希望しているので進学させたい。
・私がいなくなっても自分たちで生活がきちんとできるようにできることをこまめに教えている。
・好奇心があるのは良いことで本人がしたい、やりたいって言ったことはなるべくさせてあげたい。
・1:欲しがっている服を着させてあげたい。今まで行ったところにまた行かせてあげたい。 2:マスクなしで、伸び伸びと遊ばせてあげたい。今まで行ったところにまた行かせてあげたい。 3:行ったことのないところへ行かせてあげたい。楽しいことを教えてあげたい。
・パソコンでのプログラミングなどに関心がありますが、今はパソコンも自宅にないですし、教室などには通わせられません。
・体を動かすことが好きなのですが、経済的に習い事に通わせてあげることができていません。できることなら好きな習い事をさせてあげて、その力を伸ばしてあげたいと思っています。
・ダンスや体操を習いたいと言っているが、月謝がかかるため通っていない。習い事をしている友達が多い中で何もやっていないので、動画でダンスうぃ覚えている。(中略)好きなことは美術だが、私立高校にはいかせてあげられず、公立高校に行ってもらうようにしてしまった。お金の余裕がないと厳しい。
・2人ともやりたいことは何でもチャレンジしてほしいですが、やはりひとり親家庭なので、もう少し成長すると限界が来るかもしれません。でもできるところまで応援したいです。
・子どもたちが頑張っているサッカーだけは何としても協力してあげたいと思っている。
・やりたいことをやらせてあげたいが、お金のことを気にしてしまう。
・塾に行かず、YouTuber の勉強を活用している。家計を心配しているのか、母親として胸が痛みます。
・本当は塾に行かせてあげたい。夏休みや冬休みの講習も別途かかるので高すぎて通わせられない。住んで

いるところが（中略）全員塾に行っていて私としては肩身が狭い。役場関係で月に1回塾に行っているが、回数を増やしてあげたい。
・勉強は頑張っていますが、わからないところとかを教えてあげられないので、学習塾に行かせてあげたいのですが、月謝が払えなくて行かせてあげられないのが申し訳ないと思っています。部活も道具などを用意できないため、やらせてあげられないので申し訳ないと思っています。
・将来、どんな大人になりたいのか？の目標がない。親がこんな生活だし、私の兄 2 人も障害者、となりの母（おばあちゃん）認知症で、まわりに目標となる人もいない。。

⑫ 子どもが抱えている課題や心配なこと、直してほしいことについて（例；孤食、学習意欲、行事に参加できないなど）（自由記述、回答数 99） ＊原文のまま、以下抜粋

・家の状態を知っているので、ほとんどものを欲しがりません。我慢ばかりしているので友達関係がとても心配です。この頃は友達ともあまり遊びません。多分、お小遣いが必要だからだと思います。
・鉛筆や文房具などの買い替えを遠慮なく言ってくれないこともあり、かわいそうに思うときもあります。
・遠征、合宿、子どもの運動するジャージやくつ等、非常にお金がかかるので、私自身が服装や食事をがまんしたり、無駄遣いしない生活をしている。
・学童が毎月3千円の支払いもできなくて、早く学校から帰ってきて 13:30～18:00 くらいまで一人でいたり、家にいさせてしまい寂しいおもいをさせてしまっている。
・当初は食事のおかわりを減らしたりしていて心配していましたが、フードバンクや親戚の人からお米が届いたりしたので食するストレスはなくなりました。祖母の看護や年齢制限による就活困難で子どもたちの生計の心配やお金(生活費)の心配が多く、困りました。ただ沢山の助けがあってぎりぎりお正月を迎えられそうです。
・ゲーム、ゲーム、ゲーム。何も言わないと平気で 10 時間はやっている。困った…。
・様々な体験をさせることができない。同年代の人たちが集まる場所への参加、習い事の体験教室参加など

⑮ 現在、困っていること、要望など（例：子どもとの関わり方、家庭での生活、暮らし向きや心身の状況、就労状況、他者との関わり）（自由記述、回答数 110） ＊原文のまま、以下抜粋

・古い借家のため、真冬は室温がマイナスになります。ファンヒータに使用する灯油を買うため、食費などを削って努力しています。上の子が寝たきりで体温調節が難しく、死んでしまわないかハラハラしてしまいます。下の子と私はシングルの布団で一緒に寝ているため、暖かい布団を買ってあげられたらなと思います。

・お金が全く足りない。今まで支払いできなかった保育料・国保・車検も取れなくて放置の状態を何とかしたい。子どもの入院費も支払きれていない。常に生きていくのがやっとの状態。子どもにも常に我慢させている。(食べるものやその他いろいろ、悩みは書ききれないし、説明できないほど大量)

就労と収入
・安心して働ける就労先がない
・ひとり親になることがこんなにも辛く厳しいことだとは思っていなかった。生きづらい。
・養育費をもらえていないので自分が働かなければと不安になる。

・この先どんどんお金がかかる年齢になってきますが、親の給料がそれに伴って増えるわけではありません。子どもたちが望む進路に合った金額を提示してあげられるのかすごく不安になります。
・お金が足りない。仕事量が多く、家にいる時間がほとんどない。
・仕事の収入が少なく、あまりものが買えない。お店が家から遠いところにあるので大変。両親が両方とも介護でなかなか買い物へも行けず、日用品も食べ物も買えない日が多い。
・仕事の都合で深夜・早朝も子どもをひとりにすることが心配です。震災や何かあった時はすぐに連絡がとれるようにしたい。
・養育費が毎月確実にもらえていない。コロナがあるため、子どもの成長や教育のための機会やイベントに参加ができない。女性という理由だけで（正規の）社員になれない。
・自営業がコロナのため仕事がないこと
・コロナ渦の影響で勤務時間が減り、収入が減った。食品・電気・ガス・ガソリンなどの値上がりで生活が苦しい。
・給付金など、スピード性が全くなくて大変。

保護者の健康

・コロナで休校になったころから体調不良になり、外出や出勤ができなくなった(メニエール病)。少しずつ出勤を増やしたいが、うつ気味で生活が苦しい。
・体調不良により収入減少。復帰予定も仕事についていけるか、失敗しないかなど不安。体調も不安。収入もほとんどないので生活も不安。
・私が ASD（自閉スペクトラム症）なので、色々と生活に支障が出ている。
・心が疲れています。こどもサポートの方に時々Line をしたり、会ってもらい話しています。
・私が病気で働けないので収入が厳しいこと。私の食事を 1 回にして夫や子どもに回している。子どもの体調面。
・離婚が成立できず、母子家庭の手当が受けられない。（中略）就労状況により私が体調を崩し、1 月より休職に…。

子供と触れ合えない

・子どもとの時間を取りたい(勉強を見てあげたり、一緒に遊んだり)けど、平日は遅くまで仕事で、帰れば家事…休日は疲れて遊んであげれていない。そんな状況でもどかしい…。
・フルで働いているので家で宿題や勉強を見てあげることがあまりできない。こころの発達総合支援センターにも通っているので、これが平日ではないと駄目で仕事を休んで(半休)行っていて有給まだないので少しきつい。勉強も得意ではない子なので一緒に見てあげたいのですが、私も帰ってきてご飯作って、洗濯、子どもの宿題の丸付けや明日の支度とバタバタの中で全くできていない宿題を毎日のように「何でわからないの？」と喧嘩ばかりになってしまい少し好かれてしまう。ニコニコして子どもと接したいのにイライラしてしまう。
・ひとり親になったのは自分の責任だが、そのため土日も子どもと一緒にいる時間が短く、子どもの話を聞いたり、何か一緒にする余裕もない。職場でのコミュニケーションも苦手なため、環境も変えたいが、現実は厳しくストレスを溜め込みます。
・ダブルワークで、夕勤や夜勤をしているお母さん方のお子さんの面倒を見てくれるところを探しています。

⑰ どんな制度や支援内容・物などがあれば、回答者や家族が安心して暮らせるようになるか（自由記述、回答数 113） ＊原文のまま、以下抜粋

進学

・家で集中して勉強ができない子どもたちのために自習室を各市にあるといいなと思う。
・塾などへ通うための助成金があるといいなと思う。
・現在は就学支援を受けていますが、義務教育後もあったら高校や大学にも進みやすく、その後仕事するにも助かります。
・高校が無償になったらいいなと思う。
・進学費用

子育て

・子どもだけの時(私が仕事)、災害などが起きてしまったらとても心配です。そういう時に安否確認をして子どもを安全なところへ保護して預ける制度がほしいです。
・小学生くらいまでは同じ休みでもっと一緒に時間を共有できたり、子どもたちが喜ぶ様な場所(例えば公園や施設)へ行きやすくなる補助があると嬉しいです。
・制度と言ったら、やっぱり子どもを見てくれる制度。無料で。今はお金がかかるので頼まないです。
・土日働かざるえない。自営、サービス業向けの子ども預かり制度。学童は日曜・祝日なく、休みが必要になるため、雇用状況が向上せず非正規雇用のまま。
・仕事の支援も常時あると助かります。夕方～夜にかけて預かり場があると助かります。あるいは短時間でも来てくれるとか。
・通わせやすく、安価(無料だと嬉しい)な習い事があると助かる。学童に送り迎えしてくれたら、大変ありがたい。自分の体調が悪いときにタクシー利用券があるとありがたい。
・学校給食無料・インフルエンザワクチン(500×2 枚)などがあるといい。
・学童保育の無料化、引っ越し費用の助成、家賃補助。国民年金や国民健康保険がかなりの負担。
・傷病手当があり、安心して休職できますが、社会保険料も免除してほしい。高校まで医療費無料。
・ひとり親扶養手当の年収の基準額が低い為、自分の年収がけして高い訳ではなくても、切られてしまいました。学校の教材費も全額支払わなければならないのでかなりの負担ではあります。せめて学校関連（学費・修学旅行費・給食費など）は免除してもらえたらと思います。
・制服やジャージ、体育館ばき、上ばきの金額が高いと思います。少しでも支援（10%オフクーポン）などあるとうれしいです。
・母子家庭でも世間一般的な収入で決めず、生活状況を考えて、手当てが欲しい。持病持ちで病院に行くことが多い。熱が出やすいので、冷えピタは助かります。医療費を高校生まで無料にしてほしい。子どもも部活でケガが多く病院に通う事が多い。
・中学生へ入学するさいの制服や体育が買えるか（高いので）心配。すぐ大きくなるし…
・病気の子ども、病後児を見てくれる施設があったりすると助かります。
・世帯で見られるため、ひとり親家庭の申請が受けられない。医療費助成制度もないため、自分の病気に対しての通院をしなくなった。今後中学等の制服などフリマ情報があれば助かります。
・小さい子を連れて3人きりで遠出は心配なので、遠足のような企画があれば楽しいと思います。
・車がないと生活が困難になるのでバス・電車など移動手段の充実。公園・広場など子どもを安心して遊ばせられるところが非常に少ない。

日常生活

・娘が高校に遠距離通学をしているので、その定期代など還元されるとありがたいです。
・せめて毎月の食費分だけでも国などから貰えたらと思う。今のご時世、仕事を失う機会も多いので。
・ひとり親、シングルマザーの支援ばかりで、ふたり親でも夫がうつなどで仕事ができていなくても支援がない。ふたり親でも片方だけが働いていて生活が苦しい人への支援制度を作ってほしい。
・毎月金券の支援があれば助かります。給食無料にしてほしい。
・スーパーなどや文房具などに使用できるチケットなどがあると嬉しいです。フードバンク山梨さんからの支援でいただけない野菜・牛乳を買い物できるように。
・ネットをつなぐことがまだ金銭的に余裕もないので、来年学校へ行くとタブレットを使うことを考えたらネット回線の支援をしていただきたいです。
・戸建のアパートみたいなもの。安くて住める場所が欲しい。
学校から帰ってきてからの様子が分からないので、家の中の様子が見れる防犯カメラのようなもの。

家計

・貸しつけでも借金なので給付にしてほしい制度はたくさんありますが、今の私たちには貸しつけでもしないと生活は全くできないので我慢しています。
・暴力をふるう夫から逃れるため養育費の請求などできなかった。「収入の何%は養育費として渡すこと」などと法律で決まっていれば良かったのに、と思う。
・病院のためのお金がなく、まともに病院に行けない。子どもの入院にもお金がかかるのは本当に困る。食べるものなどは定期的に助けてほしいと思う。収入に対しての子どもの数や支払い状況での苦しさをわかってもらいたいし、その分大変な家には援助もしてほしい。
・電気・ガス・水道などの割引。

情報へのアクセス

・母子・父子家庭同士の行事があれば(キャンプや海水浴など)参加したい。子どもが遊べる機会をつくってもらえると助かる。
・どんな支援でも助かりますが、どんな制度があるのか知らない子どもたちはスポーツが好きなので、無料のリフト券やスケート、体を動かせる場所が使えるクーポンなどあれば嬉しいです。
・気軽に相談等ができる場があれば良いと思います。
・支援などの良いことがなかなか教えてもらえないし、状況を色々なところで教えてほしい。発達障害なら手帳の交付についての案内など。
・私は自分が DV を受けていると知らず、こどもサポートに参加していると言っていた方たちに話したら別居する決意ができました。きっと相談、話ができる場所や安心して誰かに Line やメールできる場所が知りたいです。電話は話しにくいし。
・親のストレス対処方法について相談できるところ。
・大学進学を望んだ時、それに合った住まいの提供をしてくれたり、相談になってくれる場所があれば知りたい。
・健康保険など税金などにとてもお金がかかります。違うところで補助があったらとても助かります。母子家庭での手当てが、役所の人によって教えてくれない人もいます。聞かないと教えないではなく、教えてあげるということがあれば何か他にも手当があるのかな?と思います。

物品

・洗剤、トイレットペーパー、ティッシュなどの支援もしてほしいです。食べ物に関しては、おかずが少ないのは子どもたちも我慢してくれていますが、米がないときはとてもつらいので、米の支援をたくさんして頂けたら嬉しいです。
・お米は本当に助かります。学用品を支援してもらえるとありがたいです。習字セット、絵の具セット、裁縫セットなど新品を買ってほしいと言われて、でも買ってあげられずにお下がりを探してもらって綺麗にしてあげて使わせました。子どもはいいと言ってくれましたが、切なかったと思いました。
・今本当に我慢しているのは寒さです。あたたかいフリース素材のものがあればと思います。
・食品だけなく雑貨や生活用品など。
・下着・服などの支援があったら助かります。
・学校でよく使う消しゴムやノートを支援してくれると嬉しい。
・日用品の提供、野菜が高いので少し送っていただければ嬉しい。
・**おさがりでもいい**ので子ども用の服がもらえたら助かります。学校で使うもの。
・お米などの食べ物の支援がありがたいです。今回のアンケートで頂いたおもちゃ商品券、普段はおもちゃなどを買ってあげられないので、ほしいものを選んで買えたのが嬉しかったです。
・新年度の学用品の補助など。
・防災グッズが高いので、あれば助かります。
・食事(食糧)以外にも使わなくなった教材(参考書など)など学習面でも支援があれば助かる方もいると思います。

６．フードバンク山梨の支援について（自由記述、回答数 123）＊原文のまま、以下抜粋

・子どもたちにチラシを見せて、こうやってみんなが作業して送ってくれているんだよと教えて感謝の気持ちを忘れないようにしています。まるで宝箱を開けるように毎回楽しみにしているようです。
・子どもたちにとってフードバンクからの支援は心の支えにもなっているようです。誰かのために支援しようと動く人がいて、それに協力してくれる人がいて、この支援は成り立っているんだよと話すと、感謝の気持ちと笑顔になるようです。

・毎回お米はとてもありがたいです。家は2人とも男の子なので段々お米を食べる量が増えているので、本当に助かっています。それにお菓子やチョコレートなども嬉しいです。フードバンクから箱が届くと2人ともとても嬉しそうに開けるのを手伝ってくれます。
・気にかけてくれる方がいるということだけで心強いです。
・お米毎回助かっています。子どもたちはジュース・お菓子・インスタントラーメンをいつも喜んでいます。食費がかかるのでとてもありがたいです。

・いつも子どもたちの長期休みや年末にはたくさんの食品や生活用品(マスク・カイロなど)本当にありがとうございます。支援していただいている月は手当がない月なのでとても助かっています。こども券も子どもの誕生日などで使わせていただきました。
・今回で支援を受けて２年目となります。子どもたちは夏休みの時期でも荷物が届くとサンタさん!?と毎回喜んで箱を開けています。寄付されている方やボランティアの方、フードバンク山梨の方々の優しい気持ちに毎

回感謝していただいております。お米など買うことができないときは本当に助かっています。

・食品だけでなく、手紙なども嬉しく、いつも届くのを親子で楽しみにしています。
・特にお米がありがたいです。クリスマス前に届いたのは一同ほっこりしました。クリスマスプレゼントだ！と。離婚しても子どもたちの生活の質は落としたくないとがんばって参りました。皆様に支えられ、パワーをもらっています。
・フードバンクのおかげでどうしても食費を節約するしかなかったので、お米や乾物、お菓子、飲み物などがとても助かりました。冬はガス代や灯油代 、ガソリン代がかかり、食費 40,000 円でが少なくなることもあり、お腹がすいてしまい、育ちざかりなのでお腹いっぱいたべさせてあげたいと思っているので、フードバンクに感謝です。

・今回初めてフードバンクを利用して、本当に助かりました。お米は家でよく食べるので毎回お米が入っていて見ると嬉しい気持ちになります。前にさつまいもが入っていた時、こういうのも有難いと思いました。
・大変助けれられいます。多くの方々へ感謝の気持ちで一杯です。いつも勇気をもらえています。本当にありがとうございます。
・本当の悩みは親には心配かけるので一切話しておりません。病院の家族会や市の悩み相談はハードルが高く、行くこともできていません。覚悟ができましたら1人で悩まず行ってみるつもり。
・寒い。コロナ。人に会えない。心が落ち込みます。
・食品の支援はとても助かります。支援が届いたときは子どもも中身を楽しみにしながら開けています。先日のクレヨンしんちゃんの定規はとても喜んでいました。毎回手書きのかわいい手紙を添えていただいて、本当に感謝しています。
・お米を買えないこともあるので助かります。子どもたちもとても楽しみにしていて、嬉しそうな姿を見ると私も嬉しいです。スーパーへ行ってもおやつをあまり買ってあげられないので、とても感謝しています。
・フードバンクさんは本当に良くしていただいて母親・子ども2人、いつも食事にはとても助かっています。今回もクリスマスが近いのでプレゼントが入っていたり、商品券のナイスアイディアがとても心に響きました。フードバンク山梨さんやボランティアの方々に支えていただいて子どもも元気に成長できています。

・子どもたちが箱を開けると「わー」と言っています。今回のギフト券は文房具を買いです。
・大きくなるにつれて食費もかかり、支援していただき、とても助かりました。もっと早く知りたかった。
・子どもとダンボールを開けるのがワクワクしています。今回はアクセサリーが入っていたので、親にまでクリスマスプレゼントが入っていたので、親にまでクリスマスプレゼントが貰えたようで、とても嬉しかったです。大切に使わせて頂きます。いつも梱包作業やいろいろな手配をありがとうございます。いつか子どもが巣立った際には私も何かお役に立てることをさせていただきたいと思っています。

・毎回ご支援いただきありがとうございます。いつもいろんなものがたくさん入っているので、開けるのが楽しみです。今回は商品券まであり、子どもの欲しいものを買ってあげようと思います。
・子どもたちに食べるものがなくなってしまった時もフードバンクのおかげでしのげています。あと、数回で終わってしまうのがとても怖いです。終わってしまったら、また何も食べる物がない生活に戻ってしまう。今は恐怖でいっぱいです。

・年に数回ダンボールいっぱいの支援品が送られてくること、金瀬的にありがたいですし、子どもたちと開けながら好きなものが入っていた。これはほしかった！とわいわい喜んでいます。楽しい瞬間です。
・お米が足りなくて困ったときにフードバンクのお米を足して、何とか食べることができました。

・本当にいつも大変ありがたく頂いています。本当に助かっている。食費は、子どもが運動していて栄食管理もしているので、食事には一番気を使っている。そのため、フードバンクさんから頂くもの（米・食料）は、いつも嬉しく頂いています。感謝です。いつもありがとうございます。
・お米を頂けるのは本当に助かりました。毎回子ども達も箱をあけるのが楽しみです!!

・去年のユニクロでのお買い物券すごくうれしかったです。久しぶりに新品の服を買ってあげる事ができました。
・フードバンクから荷物がとどくと「私がはこぶ」と言い娘がはこんでくれます。うれしそうに箱をあけながられいぞうこやフードボックスにしまうお手伝いをしてくれます。物価があがり、コロナかで食品があつまりずらいかもしれませんが、これからもずっとフードバンク山梨が長くつづいていきますように。いつか、おんがえしができたらと思っています。

・いつもいつもありがたいきもちがいっぱいので、私たち外国なのに、困る時に助けてもらって、本当にありがとうございます。
・おいつめられながらの生活の中で、フードバンクさんの品物が届くととってもホッとできます。
・いつも感謝しかありません。皆さんの助けがあるから私達が生きていけています。

・地域においても、ひとり親が生活しやすいように協力してもらえたら嬉しいです。仕事を休んだり、休日も役の仕事で家のことができなかったり、子どもと出かけることもできません。やはり、夫婦そろっている家庭とひとり親家庭ではできることがあるので、もう少し配慮してもらえたら生活しやすくなると思います。
・いつもたくさんの食料と生活に役立つものを届けてくださり、ありがとうございます。特にお米やお菓子類は本当に助かります。子どもには毎回満足できる食事を取らせてあげたいと思っています。おかげさまで毎日十分な食事を与えることができています。

・手を差し伸べてくれる人がいることに、もう少し頑張ってみようと思います。
・孫たちと暮らして２年になります。フードバンクのことなど全く知らず、私には遠いものと感じていましたが、お世話になることにより、食品など本当に助かっています。
・いつも大変ありがたい物資をお送り頂き感謝しております。皆様のご支援のおかげであたたかな気持ちになります。食品だけでなく、タオルやホッカイロ、熱冷シート等、日々の生活に役立つものばかりで大変ありがたく思っております。

・生活は大変ですが、フードバンクを利用させてもらい食費がすごく助かっています。子どもも成長してよく食べるようになり、本当にありがとうございます。
・毎回楽しみにしています。こんなにたくさんいいんですか？という感じで子どもたちも一緒に"母ちゃん～こんな物が入っていたよ"ととても喜んでいます。本当にありがたいです。カップ麺、非常用食品など多く入っていますが、糖質制限や身体にいいもの、たんぱく質中心の物を希望したいです。子どもにはカップ麺など身体に良くないものは食べさせていないです。食はとても大事だと思います。

・いつもお米をたくさん頂き、助かっています。数か月に1度お米の購入は大きな出費ですが、フードバンクでくださるようになってから買い物に行くときの心理的ストレスが減りました。お菓子をたくさん入れてくれるので、「子どもにお菓子をあげてもいいんだ!」と安心しました。スナック菓子など、よくないものの代表かと思っていたので気持ちが楽になりました。
・ひとり親の家庭ではとても生活が厳しく、満足のいく物を食べさせてあげられずにいますが、このような物資

がとても助けられています。

・いつも沢山の食料をありがとうございます。子どもたちは、いつもダンボールが届くと中身が楽しみでしょうがありません。あっという間に、2 日くらいで 1 箱食べきるほど、食欲旺盛のため非常食もすぐなくなります。今回のクリスマスカードには少し感動しました。一人で子育てしているんじゃない。周りの人に支えられていると感じました。
・本当に子どもの食することで安心を得られました。青汁などたんぱく質のドリンクはびっくりしました。栄養は保てるからです。

・子どもたちがいつもとても喜んでいます。ジャンケンをしながらお菓子を分け合っています。乾麺や缶詰、レトルト食品も助かります。
・今年度から支援して頂いてものすごく助かっています。休み中はどうしても食費等にかかってしまうため、ありがたいです。今後とも続けていってほしいです。
・長期休みの支援は本当に毎回助かっています。
・いつもありがたく思っています。子どもたちが大きくなるにつれて食べる量が増え、食費がかかるので助かっています。
・長い間お世話になり、本当に助かりました。ありがとうございます。このような支援のおかげで、やってこられました。本当にありがとうございました。
・毎回子どもが届くと嬉しそうに「早く開けよう!」と言っています。

・フードバンク山梨さんにはとても感謝しています。毎回荷物が届くと子どもたちはとても嬉しそうに箱を開けています。たくさんの方たちの善意の品を感謝しながら頂いています。本当にありがとうございます。
・毎回箱を開けるときの子どもたちのワクワクが止まりません。とても助かっています。

・いつも助かっています。ありがとうございます。食品だけでなく、雑貨や商品券も送っていただき、本当に助かっています。
・フードバンクの支援、思っていた以上に色々入っていて本当に助かりました。感謝の気持ちでいっぱいです。メッセージも良かったです。

・フードバンクの支援がとてもありがたく、大切に使わせていただいています。自分は買わない食べ物も入っているので子どもと「こんなのが入っていたよ!食べてみよう!」と楽しみながら食べています。ハロウィンやクリスマス用のお菓子や、プレゼントとても喜びました。1 回 1 回丁寧に手紙付きで、読みながら心がとてもあたたかくなりました。
・本当に助かっているのでありがたいしかないです。色々してもらっている分、どこかで返していけたらと思っています。フードバンクの箱詰めなど…?

・大変助かっています。子どもが支援されたお菓子や食べ物で暮らしています。
・食費はフードバンクをしてからかなり減っているので、とても助かっています。なので何とか収入がなくても食べて行けますが、フードバンクがなければ本当に無理だと思っています。
・長期休みに加え、コロナで自宅にいる時間が増え、同時に食料もこれまでよりはるかに増えました。主食の米をはじめ、マスク等本当に助かっています。

・この度近場(富士の緑とフードサポート様)のご支援もあり、ガソリン代も大変助かりました。まだまだ未来の

ある子どもたちのために、明るい未来を提供してあげたいです。温かなご支援でこれからも皆に幸せをお願い致します。
・フードバンクっていう名前は知っていましたが、実際に関わることはなく、今回初めて**「にらちび」**で食品を提供してもらい、どういう企業でどういう活動をしているのか知ることができました。本当に助かりました。

お便り：心の交流
・今まで申し込み方法が分からず利用できなかったのですが、市からのチラシで利用できとても助かりました。仕事が解雇になり、収入もなく不安な時に支援物資とあたたかな手紙がとても嬉しかったです。
・内容を見て、利用させていただけたことに感謝致します。物があるという安心感をたくさんいただけました。

日用品
・今回頂いた「カイロ」は本当に助かっています。ありがとうございます。お菓子も子どもが嬉しそうに分けていました。ありがとうございます。私よりも困っているいる人もたくさんいうと思うなか、私たちにもこんなに届けて頂けて本当にありがとうございます。みなさんの気持ちが本当にあたたかいです。早く自分の力で生活できるように頑張ります。
・日々の生活に必要な食品だけでなく、子どもが喜ぶお菓子やマスクやアルコールなど今必要な物をとてもよく考えて入れていただいていると思います。人の優しさに本当に感謝しています。毎日大変な日々ですが、フードバンクの荷物とともに心あるお手紙にいつも元気とパワーをもらっています。

以上

コロナ禍におけるフードバンク活動

認定NPO法人フードバンク山梨実績（2020年3月～2021年3月）

コロナ禍緊急食料支援　計3,711件

3月	4月		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和3年1月	2月	3月	
①就学援助世帯	②就学援助世帯	③就学援助世帯	④乳幼児世帯		⑤大学生支援			⑥留学生支援	⑦大学生支援	⑧乳幼児世帯	⑨大学生支援	⑩失業者支援	⑪留学生支援	⑫失業者支援	⑬就学援助世帯	⑭失業者支援	⑮失業者支援
709	56	752	118		82			181	39	137	94	109	281	108	850	75	120

コロナ禍緊急食料支援
3,711件

＋

通常支援
6,720件

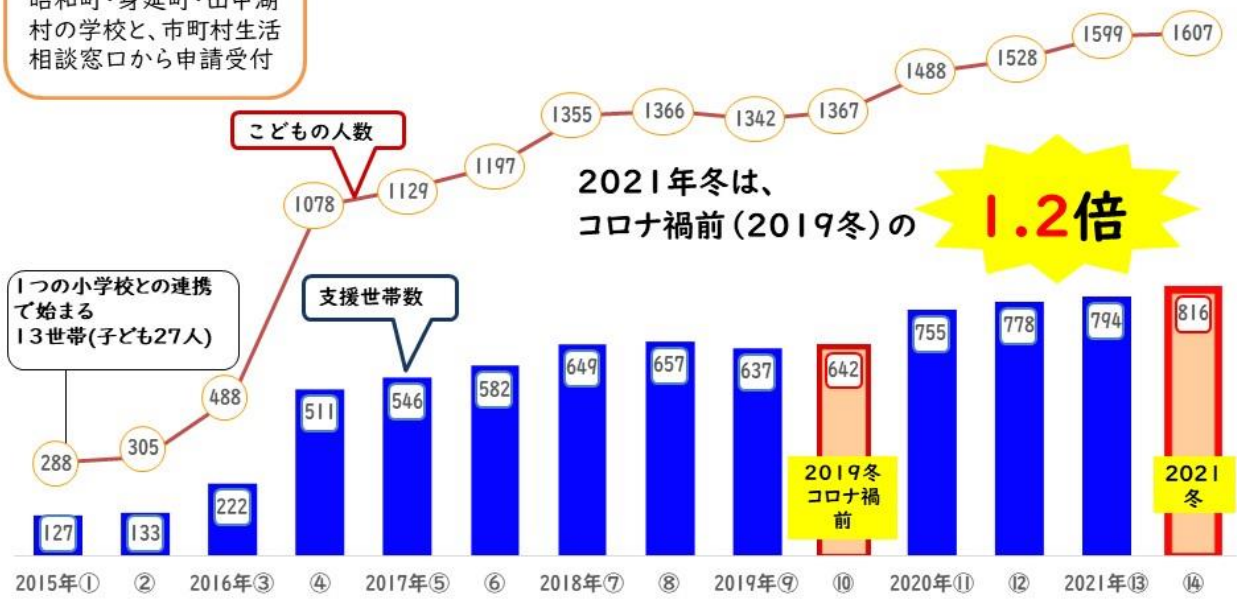
→

10,431件
昨年の
2.1倍

フードバンクこども支援プロジェクト利用世帯数推移

中央市・南アルプス市・笛吹市・山梨市・都留市・大月市・上野原市・昭和町・身延町・山中湖村の学校と、市町村生活相談窓口から申請受付

2015年～2021年
延べ20,655人の子ども　12,254世帯へ支援



2021年冬は、
コロナ禍前（2019冬）の
1.2倍

資料

回収方法説明
保護者アンケート票

「保護者アンケート票」と「子どもアンケート票」への回答に、ぜひご協力を！

お子さんがいるご家庭のみなさまへ

この封筒のなかに入っているアンケートは、お子さんのいるご家庭のコロナ禍における現在の状況をお伺いし、今後の支援につなげることを目的にしています。個人が特定されないようにして、報告書にとりまとめます。

締切り：2022年1月7日（金）までに郵送

保護者の方は
保護者アンケート票

アンケート票1枚目のQRコードでスマホでの回答もできます

小学3年生から高校3年生のお子様全員は「子どもアンケート票」にご記入ください

保護者アンケート票

①入れやすいように折ります
②そのまま宛名が明記された水色の封筒に入れます

「保護者アンケート票」と「ピンク封筒」を入れたことを確認して、投函してください

子どもアンケート票

①ピンク封筒に入るように折ります
②最初にピンクの封筒に入れます
③次にピンク封筒を、宛名が明記された水色封筒に入れます

保護者アンケート票

2021 年 12 月実施

生活状況に関する調査　アンケート調査票

認定 NPO 法人フードバンク山梨

お子さんがいるご家庭のみなさまへ

　このアンケートは、お子さんのいるご家庭のコロナ禍における現在の状況をお伺いし、今後の支援につなげることを目的にしています。個人が特定されないようにして、報告書にとりまとめます。
　みなさまのご協力で少しでも生活安定につながるよう、これからの活動に役立たせていただきますので、ご協力をお願いいたします。

ご記入に当たってのご注意

- このアンケートは無記名です。お名前をお書きいただく必要はありません。
- ご回答は、質問番号の順に回答欄の当てはまる所に〇、または内容を具体的にご記入ください。
- ご記入いただいたアンケート用紙は、返信用封筒に入れて郵送してください。切手は不要です。

**（お願い：2022 年 1 月 7 日までに、このアンケート票と（お子さんに書いていただく）子どもアンケート票を返信用封筒に入れて郵送してください。
　または、各アンケート票の 1 頁目にあるＱＲコードをスマホで読み取り、表示されたサイトからご回答いただいても結構です。）**

Ⅰ．回答される方ご自身のことについてお尋ねします

①　回答される方は、お子さんからみてどなたにあたりますか

母親　父親　祖父　祖母　その他＿＿＿＿＿＿＿

②　お子さんと同居しているご家族の人数を教えてください。（あなたとお子さんも含みます）

□人

③　お子さん（18 歳未満）の人数を教えてください。＊18 歳は含みません。

□人

④　現在の家族構成についてお聞かせください

（母子）ひとり親世帯　（父子）ひとり親世帯　ふたり親世帯　その他＿＿＿＿＿＿＿＿

⑤　回答されている方の雇用形態を教えてください。（あてはまるものに○）

a. 正規職員・正社員
b. 契約、派遣など、非正規職員・非正規社員
c. パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員
d. 自営業
e. 家族経営に従事
f. 専業主婦
g. 学生
h. 引退（退職）
i. 無職
j. わからない

⑤－1　前問で職業をお持ちの方におうかがいします。平日の日中以外の勤務がありますか。（あてはまるものすべてに○）

a. 早朝（5 時～8 時）
b. 夜勤（20 時～22 時）
c. 深夜勤務（22 時～5 時）
d. 土曜出勤
e. 日曜・祝日出勤
f. 平日の日中以外の勤務はない
g. その他＿＿＿＿＿＿＿＿

⑥　1 か月間の世帯収入金額（手取り額）はおおよそいくらでしょうか。数字をご記入してください。（＊該当なしの場合は、0 をご記入ください。）

種類	金額
手取り給与	円
養育費	円
児童手当	円
児童扶養手当	円
ひとり親家庭の住宅手当	円
ひとり親家庭の医療費助成制度	円
こども医療費助成	円
特別児童扶養手当	円
障害児福祉手当	円
児童育成手当	円
ひとり親家庭の遺族年金	円
生活保護	円
その他（具体的に） ＿＿＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿＿＿	＿＿＿＿＿＿＿＿円 ＿＿＿＿＿＿＿＿円 円

合計金額（手取り額）	円

⑦　現在、借金をしていますか。

はい　　いいえ

2．最近の食品、電気・ガス、ガソリンなどの値上げについてお尋ねします

⑧　食品や石油、試験料などが値上がりしています。値上がりしている物の中で、あなたの生活に影響している物を教えてください。（該当するものにすべて○）

食品

お米　食パン　即席めん　ゆでうどん　小麦粉　牛乳　チーズ　豆腐　牛肉　食用油　マーガリン　マヨネーズ　しょう油　みそ　かまぼこ　まぐろ缶詰
バター　お菓子　レギュラーコーヒー　冷凍食品　野菜

その他の食品（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

電気代　ガス料金　水道料金　ガソリン　灯油　トイレットペーパー

試験受験料（名称＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

⑨　１カ月の世帯全体の食費をお聞かせください（例：30，000 円）

［　　］円

⑨-１　コロナ禍の影響で、節約のために食費を削っていますか

はい　　いいえ

⑨-２　節約のために食事の回数・量について変化はありましたか。

a．一日の食事回数を減らしている　　b．１回の食事量を減らしている
c．一日の食事回数と１回の食事量の両方を減らしている　　d．変わらない

⑨-３　現在、節約のために食事の内容について変化はありましたか。
（該当するものすべてに〇）

a．炭水化物だけの食事が増えた　b．おかずが減った　c．インスタント食品が増えた
d．変わらない　e．その他（　　）

4. お子さんについてお尋ねします（複数のお子さんがいる場合、分けてお答えください）

⑩　お子さんの状況や特徴について聞かせください。（たとえば、ご家庭での様子、日常生活習慣、服装、放課後の過ごし方、居場所、学習意欲、行事に参加できないなど）

⑪　お子さんの伸ばしたい点について聞かせください。（たとえば、関心があること、ご家庭での様子、日常生活習慣、服装、放課後の過ごし方、好きな科目など）

⑫　お子さんが抱えている課題や心配なこと、直してほしいことについて聞かせください。（たとえば、孤食、学習意欲、行事に参加できないなど）

⑬　お子さんの最終進路について、回答者の希望（理想）をお聞かせください

中学卒業後就職　　高校まで　　短大･高専･専門学校まで　　大学･大学院以上

⑬-１　お子さんの現実的な進路をお聞かせください

中学卒業後就職　　高校まで　　短大･高専･専門学校まで　　大学･大学院以上

５．お困りごとなどについてお尋ねします

⑭　悩みやストレスはありますか

ある　ない

⑮　現在、困っていること、要望などありましたらお聞かせください。（例えば、お子さんとの関わり方、家庭での生活、暮らし向きや心身の状況、就労状況、他者との関わり）

⑯　困った時に、周りに相談や頼れる親族や友人はいますか。（お子さんが病気になった。用事ができた。など）

いる：

（ 親　兄弟　いとこ　友人　その他（　　））　　いない

⑰　あなたやご家族が安心して暮らせるようになるために、こんな制度や支援内容・物などがあれば助かるものはありますか。

６．フードバンク山梨の支援について、ご意見やご希望・ご感想をご自由にお書きください。

アンケートは以上で終了です。ご協力いただき誠にありがとうございました。